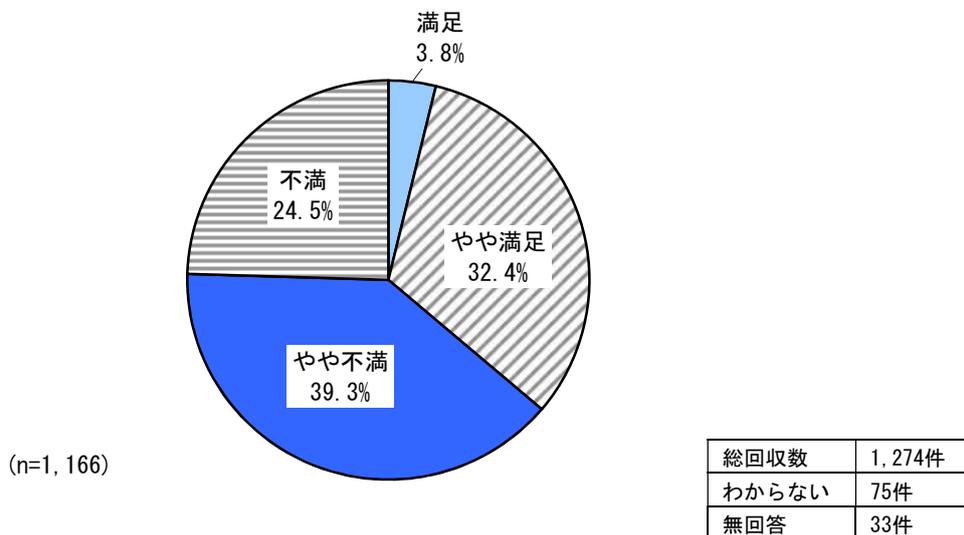


## 6. 市内の道路の「安全性」および「便利さ」について

### (1) 市内の道路の「安全性」についての満足度

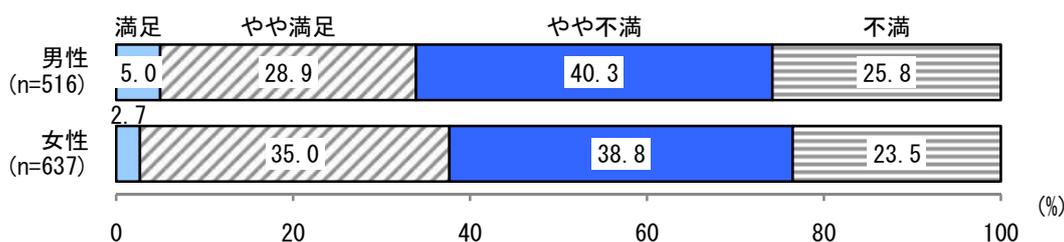
問10 市内の道路の「安全性」について、あなたは、どの程度満足していますか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図6-1 市内の道路の「安全性」についての満足度】



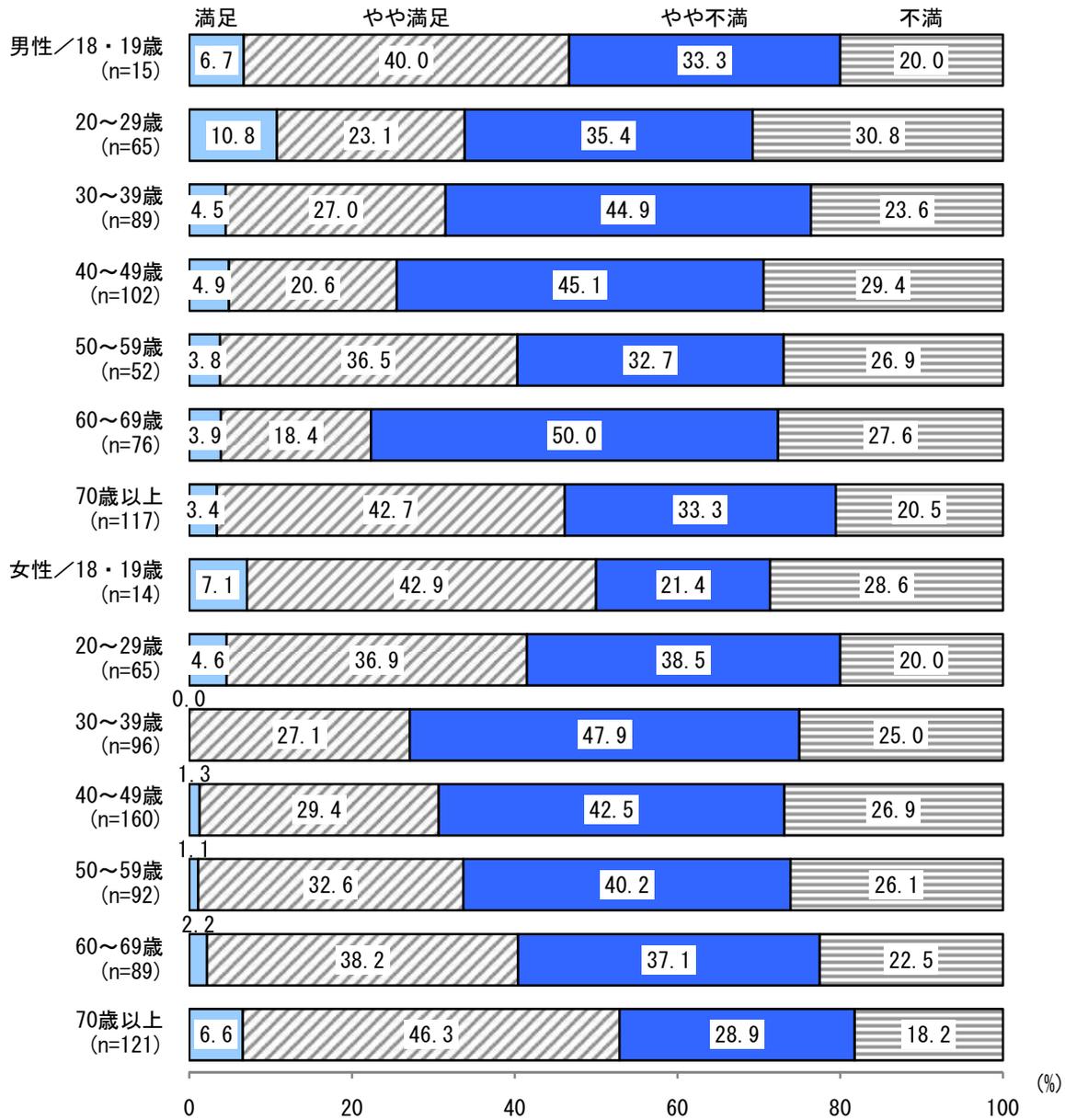
- 市内の道路の「安全性」についての満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が36.2%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が63.8%となっている。(図6-1)
- 性別でみると、男女ともに『不満』が高く、男性では66.1%、女性では62.3%となっている。(図6-1-1)

【図6-1-1 性別 市内の道路の「安全性」についての満足度】



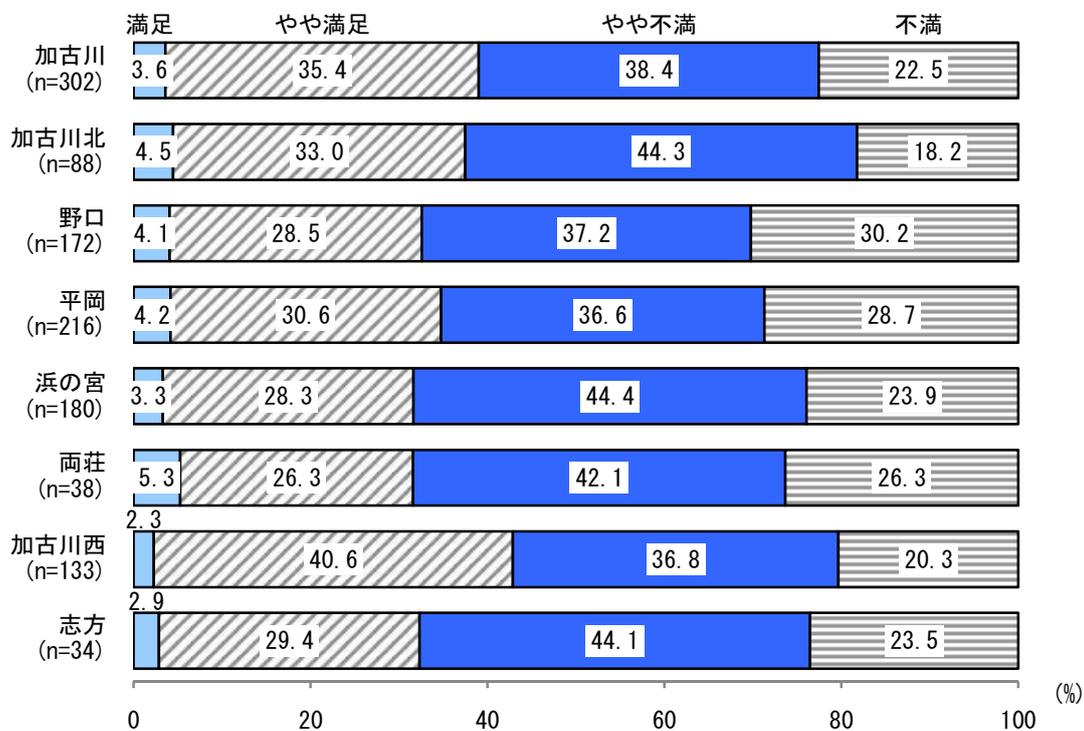
●性年代別でみると、『満足』は「女性70歳以上」(52.9%)、「女性18・19歳」(50.0%)、「男性18・19歳」(46.7%) で高くなっている。『不満』は「男性60～69歳」(77.6%)、「男性40～49歳」(74.5%)、「女性30～39歳」(72.9%) で高くなっている。(図6-1-2)

【図6-1-2 性年代別 市内の道路の「安全性」についての満足度】



- 居住地区別でみると、『満足』は「加古川西」(42.9%)、「加古川」(39.0%)、「加古川北」(37.5%) で高くなっている。『不満』は「両荘」(68.4%)、「浜の宮」(68.3%)、「志方」(67.6%) で高くなっている。(図6-1-3)

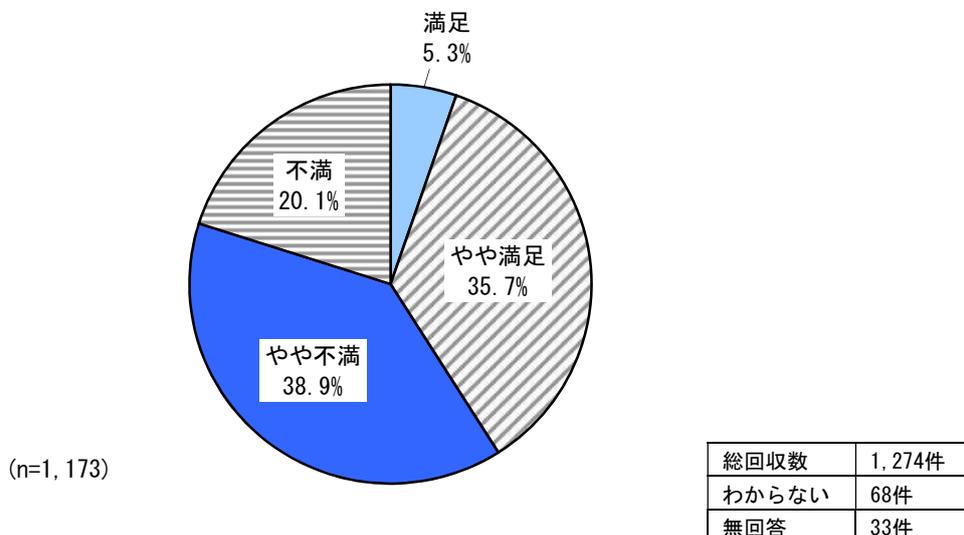
【図6-1-3 居住地区別 市内の道路の「安全性」についての満足度】



(2) 市内の道路の「便利さ」についての満足度

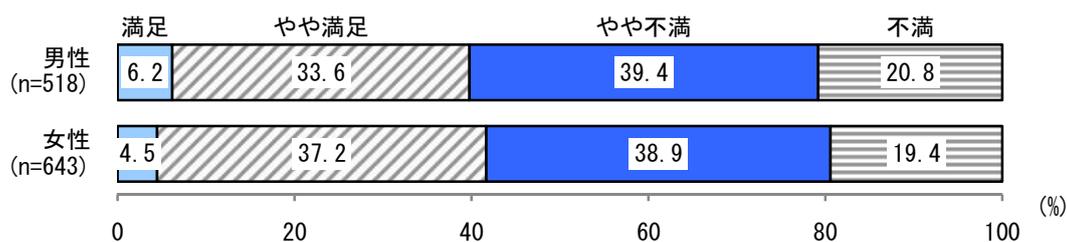
問11 市内の道路の「便利さ」について、あなたは、どの程度満足していますか。  
あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

【図6-2 市内の道路の「便利さ」についての満足度】



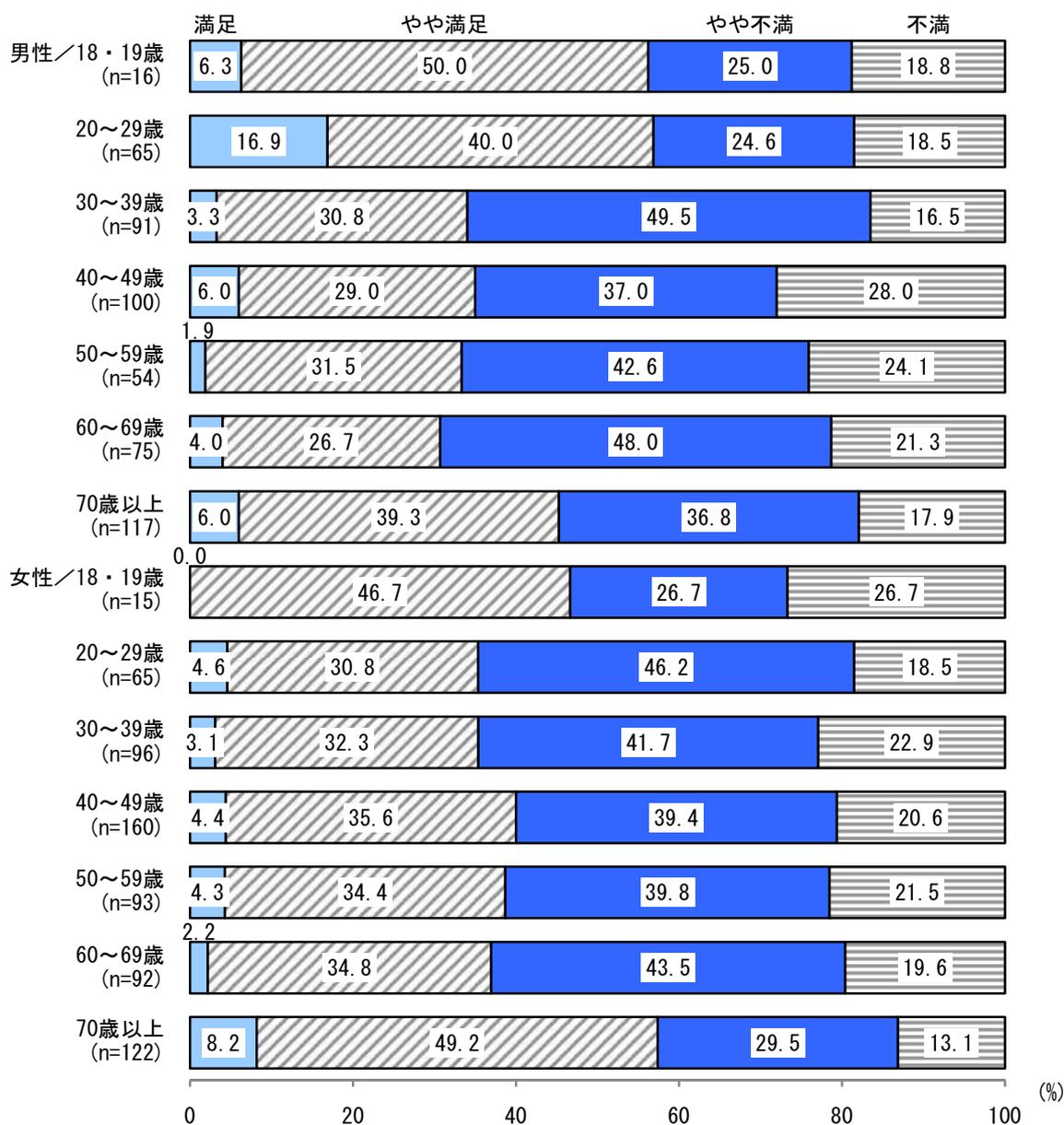
- 市内の道路の「便利さ」についての満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が41.0%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が59.0%となっている。(図6-2)
- 性別で見ると、男女ともに『不満』が高く、男性では60.2%、女性では58.3%となっている。(図6-2-1)

【図6-2-1 性別 市内の道路の「便利さ」についての満足度】



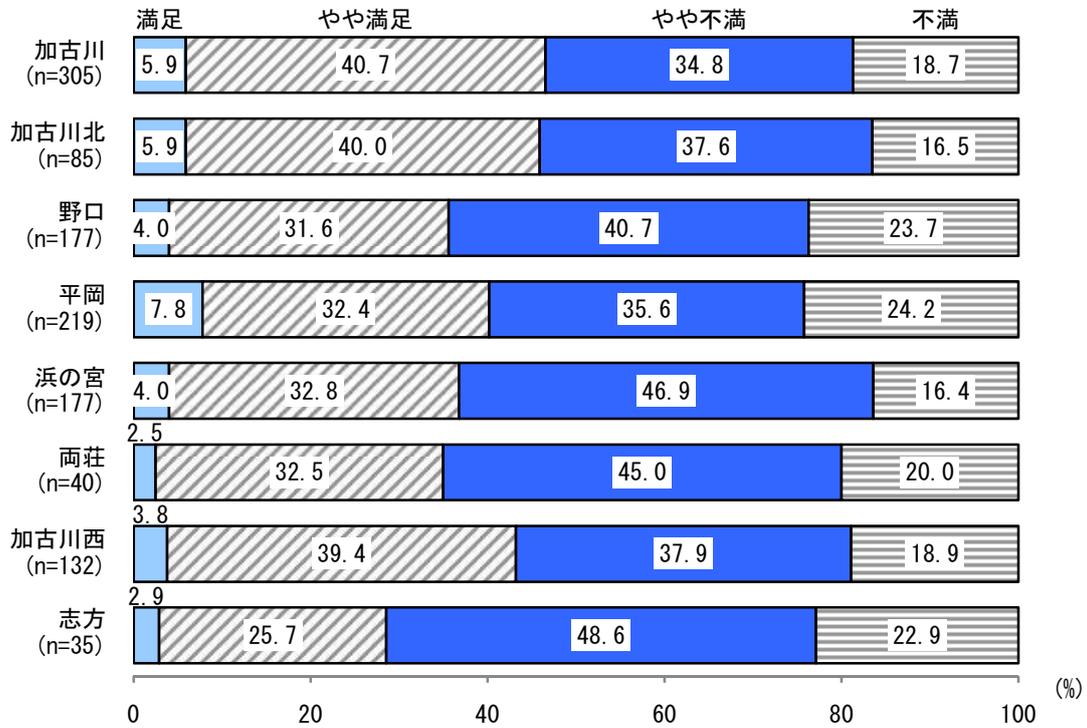
- 性年代別でみると、『満足』は「女性70歳以上」(57.4%)、「男性20～29歳」(56.9%)、「男性18・19歳」(56.3%) で高くなっている。『不満』は30歳代から60歳代男性が6割台と高くなっている。(図6-2-2)

【図6-2-2 性年代別 市内の道路の「便利さ」についての満足度】



- 居住地区別でみると、『満足』は「加古川」(46.6%)、「加古川北」(45.9%)、「加古川西」(43.2%)で高くなっている。『不満』は「志方」(71.5%)、「両荘」(65.0%)、「野口」(64.4%)で高くなっている。(図6-2-3)

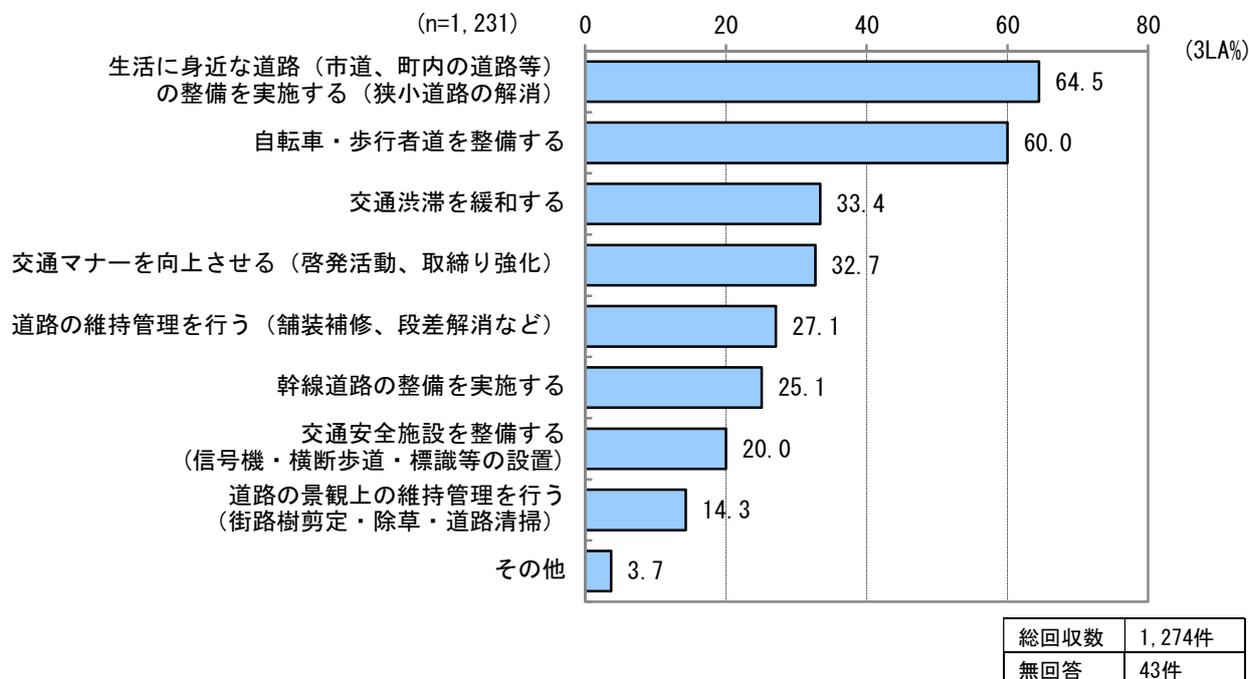
【図6-2-3 居住地区別 市内の道路の「便利さ」についての満足度】



(3) 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組

問12 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために、どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

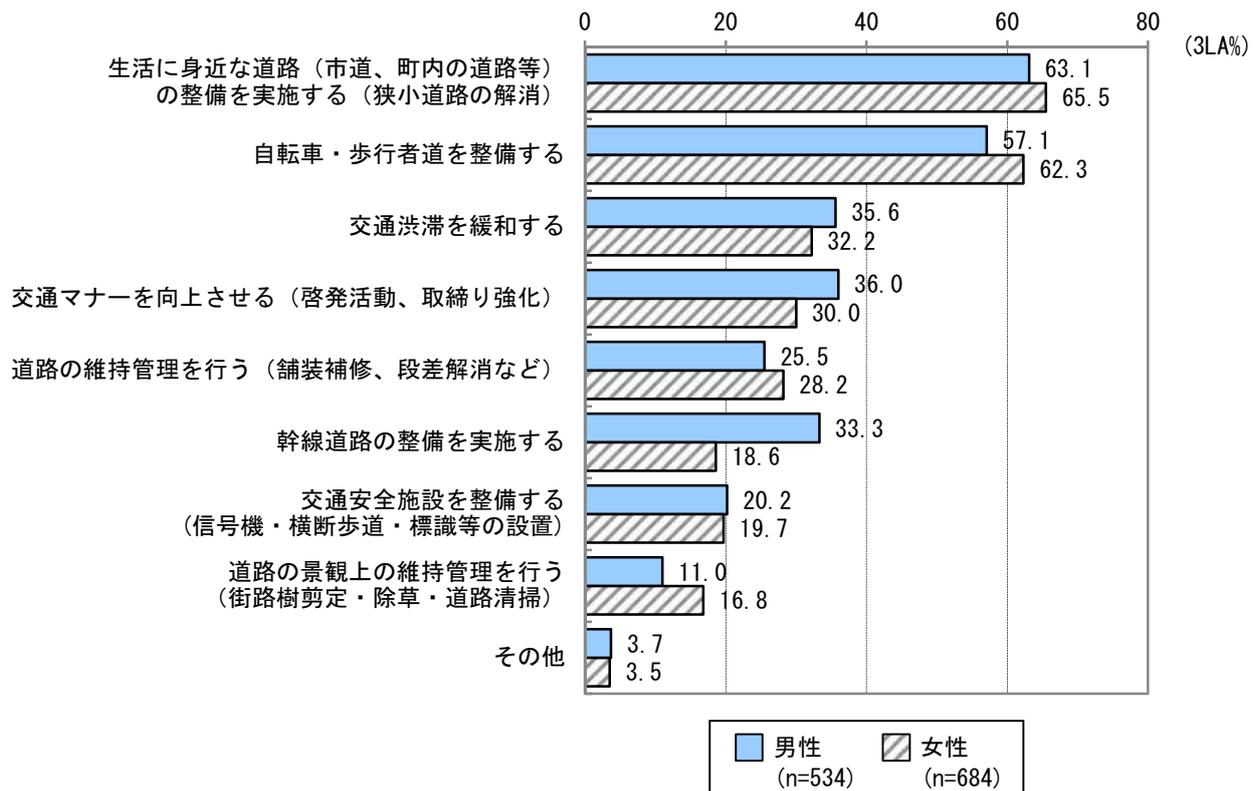
【図6-3 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組】



- 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組については、「生活に身近な道路（市道、町内の道路等）の整備を実施する（狭小道路の解消）」が64.5%と最も高く、次いで、「自転車・歩行者道を整備する」が60.0%、「交通渋滞を緩和する」が33.4%となっている。（図6-3）

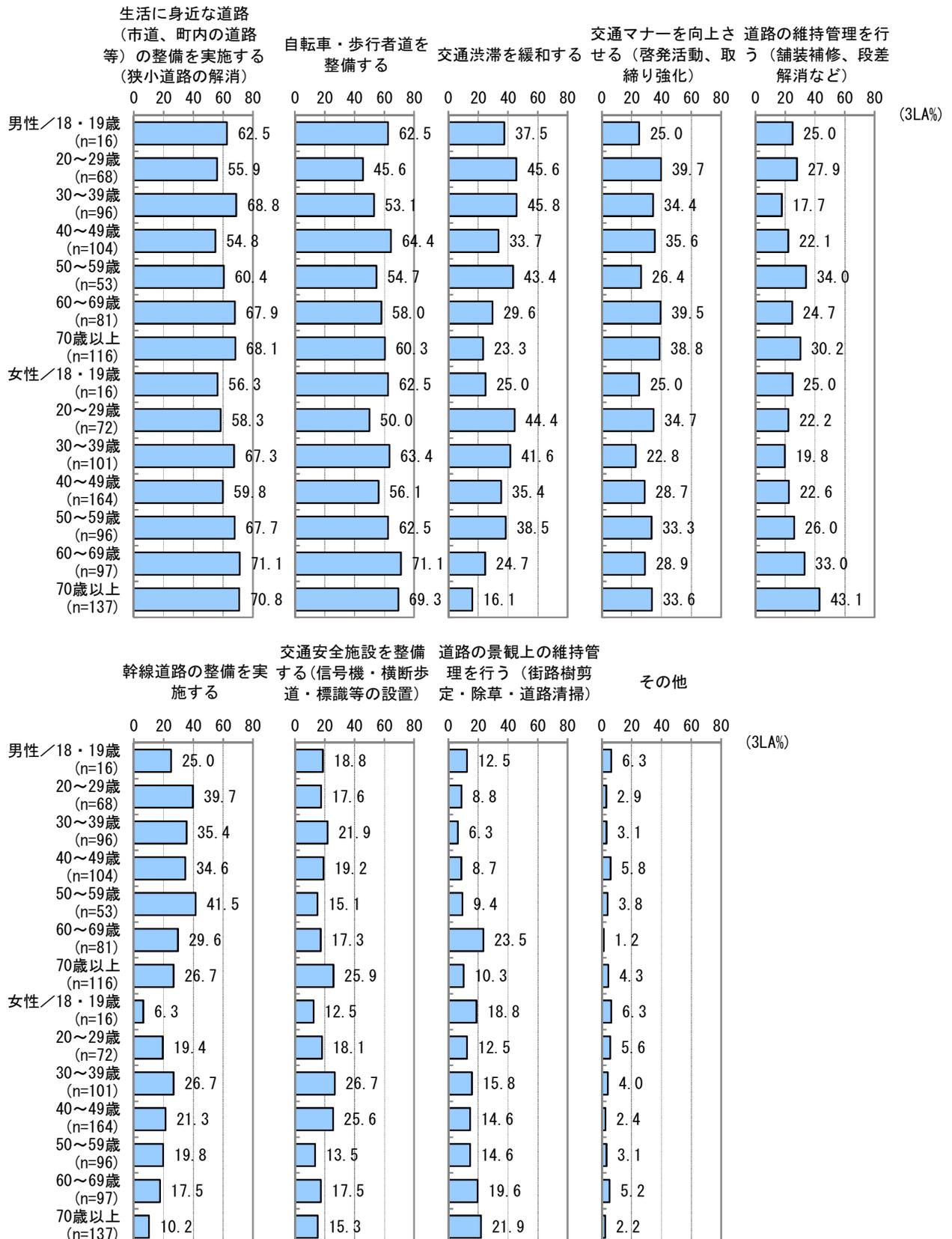
●性別でみると、男女ともに「生活に身近な道路（市道、町内の道路等）の整備を実施する（狭小道路の解消）」が最も高く、男性では63.1%、女性では65.5%となっている。男女を比較すると、男性は「幹線道路の整備を実施する」、「交通マナーを向上させる（啓発活動、取締り強化）」が高く、女性は「道路の景観上の維持管理を行う（街路樹剪定・除草・道路清掃）」、「自転車・歩行者道を整備する」が高くなっている。（図6-3-1）

【図6-3-1 性別 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組】



- 性年代別でみると、「生活に身近な道路（市道、町内の道路等）の整備を実施する（狭小道路の解消）」は「女性60～69歳」（71.1%）、「女性70歳以上」（70.8%）で高くなっている。「自転車・歩行者道を整備する」は「女性60～69歳」（71.1%）、「女性70歳以上」（69.3%）で高くなっている。（図6-3-2）

【図6-3-2 性年代別 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組】



●居住地区別でみると、「生活に身近な道路（市道、町内の道路等）の整備を実施する（狭小道路の解消）」は「加古川北」（75.3%）、「志方」（68.4%）で高くなっている。「自転車・歩行者道を整備する」は「加古川北」（66.7%）、「野口」、「平岡」、「浜の宮」（それぞれ61.8%）で高くなっている。「交通渋滞を緩和する」は「野口」（46.2%）、「平岡」（38.7%）で高くなっている。（図6-3-3）

【図6-3-3 居住地区別 道路の「安全性」または「便利さ」向上のために必要な取組】

